

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 9 日 (2017.3.9)

【公開番号】特開 2015-143624 (P2015-143624A)

【公開日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2015-050

【出願番号】特願 2014-16414 (P2014-16414)

【国際特許分類】

G 0 1 N 3/08 (2006.01)

G 0 1 N 3/20 (2006.01)

G 0 1 N 3/24 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 3/08

G 0 1 N 3/20

G 0 1 N 3/24

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 25 日 (2017.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

中空部を有する第 1 部材と、

上記第 1 部材の上記中空部に挿通された、ポテンショメータを挟んで設けられた前部と後部とからなる第 2 部材とを有し、

上記ポテンショメータの可動部は上記第 1 部材と一体になっており、

上記第 2 部材の上記前部の一端が上記第 1 部材に固定または拘束され、上記第 2 部材の上記後部の他端が上記第 1 部材に固定または拘束されていない破壊検知センサ。

【請求項 2】

第 1 部材と、一端が上記第 1 部材に固定または拘束され、他端が上記第 1 部材に固定または拘束されていない状態で上記第 1 部材と並列に設けられ、かつ上記第 1 部材の弾性変形または塑性変形中に破断する破断特性を有する第 2 部材と、上記第 2 部材の上記他端に上記一端と反対側に引張力を加える付勢機構とを有する破壊検知センサと、

上記第 2 部材の破断および / または変位を検出する破断および / または変位検出装置と

と、
上記破断および / または変位検出装置により検出された上記第 2 部材の破断および / または変位の情報を外部に報知および / または表示する報知および / または表示装置とを有する破壊検知システムであって、

中空部を有する第 1 部材と、

上記第 1 部材の上記中空部に挿通された、ポテンショメータを挟んで設けられた前部と後部とからなる第 2 部材とを有し、

上記ポテンショメータの可動部は上記第 1 部材と一体になっており、上記第 2 部材の上記前部の一端が上記第 1 部材に固定または拘束され、上記第 2 部材の上記後部の他端が上記第 1 部材に固定または拘束されていない破壊検知センサ
をさらに有することを特徴とする破壊検知システム。

【請求項 3】

複数の破壊検知センサを有し、

少なくとも一つの上記破壊検知センサが、

第 1 部材と、一端が上記第 1 部材に固定または拘束され、他端が上記第 1 部材に固定または拘束されていない状態で上記第 1 部材と並列に設けられ、かつ上記第 1 部材の弾性変形または塑性変形中に破断する破断特性を有する第 2 部材と、上記第 2 部材の上記他端に上記一端と反対側に引張力を加える付勢機構とを有する破壊検知センサである構造物であって、

少なくとも他の一つの上記破壊検知センサが、

中空部を有する第 1 部材と、

上記第 1 部材の上記中空部に挿通された、ポテンシオメータを挟んで設けられた前部と後部とからなる第 2 部材とを有し、

上記ポテンシオメータの可動部は上記第 1 部材と一体になっており、上記第 2 部材の上記前部の一端が上記第 1 部材に固定または拘束され、上記第 2 部材の上記後部の他端が上記第 1 部材に固定または拘束されていない破壊検知センサであることを特徴とする構造物。